



本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます

古民家の端午の節句

子の健やかな成長を願って

古民家では子どもの健やかな成長を願って、端午の節句を祝います。今年も4月16日(月)[雨天時19日(木)]に中庭にポールを立てて、晴天の日には鯉のぼりをあげます。大空に泳ぐ大きな真鯉や緋鯉を見においでください。そして4月17日(火)～5月14日(月)10時～16時[休館日5月2日(水)]の間、座敷に兜や、疱瘡除け・学業成就に効き目があるとされる鍾馗さんなどたくさんの五月人形を飾ります。

爽やかな新緑の風に吹かれながら、ご一緒にお子さまの健やかな成長と発展を祈りませんか。

《由来と風習》

端午の節句は奈良時代から続く古い行事です。端午は五月初めの午の日を意味します。旧暦五月は雨季に入り悪疫がはびこるなど悪い月とされ、万葉の時代からは薬草を摘み、門に菖蒲をさしたりして災厄をはらいました。



時代が武家社会に移るにつれ、鎌倉時代ごろからそれまでの風習が廃れ、代わりに「菖蒲」と「尚武」(武を尊ぶ)が同じ読みであること、菖蒲の葉が剣の形を連想させることなどから端午は男の子の節句とされて、男の子の成長と健康を祈るようになりました。

強い香気で厄を祓う薬草とされていた菖蒲やよもぎを軒につるし、湯に入れて菖蒲湯として無病息災を願ったご家庭も多いのではないのでしょうか。



桜の開花は例年より一週間ほど遅かったが、今年もふじやまの花見が盛況のうちに終わった。

ちょうど今頃満開となっているであろう東北では、桜を津波の到達点に植え、復興のシンボルにしようというプロジェクトが動き出しているらしい。植樹後100年といわれ日米友好の象徴となったポトマックの桜のように、50年、100年たっても災害への備えを語り継ぎ、復興を祝う桜の名所となることを願いたいものだ。



出会い、別れ、旅立ちといった人生の節目の出来事と重なることが多く、散り際の美しさが日本人の心を捉えてきたこの花を、芭蕉は“様々のこと思ひだす桜かな”と詠んだ。淡いピンクの絨毯の上で弁当を広げている子どもたちも、将来桜を見たとき、家族で来た公園のことを懐かしく思い出してくれるのだろうか。

お花見会

今年のふじやま公園のお花見会は桜の花が満開直前でしたが、来園みなさんの満足度、催し物の盛り、食べ物などの売行きいずれも満々開でした。



安来節



獅子舞

輪投げ



来園者による桜の切絵



殺陣



和太鼓



作って遊ぼう～子ども工作の日

スーパー・ブーメランを作って遊ぶ

3月18日(日)予報より少し早い冷たい霧雨の中、手製のブーメランが古民家中庭に大きな弧を描いていました。羽根の長さ、先端の丸み、そりのつけ方など少しずつ調整してやってみよう、と指導を受けた子どもたちは、中庭と工作棟を行ったり来たり。スナップをきかせて回転させて、屋根までのぼってしまったブーメランも。「作ってすぐに遊べるし、楽しい交流の時間がもてて、このような活動は大切ですね。」という、お子さんと一緒に参加されたおとうさん。近くに住んでいてもなかなか足を運ぶことがなかった古民家。息子さんやお孫さんとともに、また、是非参加したいとお話いただきました。



ふじやま公園の植物

シキミ シキミ科

常緑樹で高さ 10m にもなり本州や中国、台湾などに分布する。仏前や墓前に供える花として知られ、日本の仏教と関わりの深い植物。早春、淡黄色の小花をたくさん付け秋になると星形の実を付ける。実は料理の香辛料に使う八角と似ているが有毒指定され、また葉や樹皮を燃焼すると強い臭いを放つ。可憐な小花や、愛らしい星形の実からは想像もつかない。公園では3m以上の高木となりたくさんの花が咲き、大震災に遭われた方々への手向けの花のようにも思う。



『いろいろ辺雑記』から (原文のまま)

今年も本郷ふじやま公園の開園記念日に登って参りました。1年振りにかまどの煙に接し、昔の“におい”を味わいました。こうして毎年来られるのも、健康のおかげです。来年は開園10周年の節目の年となります。楽しみにしております。

本郷ふじやま公園を愛する一区民より

追伸：展示されているおひな様に圧倒されました。これが本当のおひな様であると子どもたちに実感してほしいものです。

古民家で楽しくボランティアを・・・



横浜市指定有形文化財に指定されている本郷ふじやま公園は、地域に根ざした文化体験の場として、現在160名ほどのボランティアが携わっています。公園には四季折々の花が咲き、季節の様々な行事が行われます。春はお雛様、お花見、筍堀り、鯉のぼり。夏は七夕。秋はお月見、収穫祭。冬は餅つき、門松かざりなど、地域のみなさんが集う行事が行われています。

ボランティアは次の部会に分かれて、公園と市民をつなぎ、自然と古民家を守る活動を行っています。

古民家歴史部会：旧小岩井家住宅を紹介し、地域の歴史と伝承を伝えています。

里山部会：里山特に竹林を整備し炭焼き体験を行っています。

工作棟部会：手作り・ものづくりの20以上の体験教室を開いています。

農芸部会：農園と古民家の花壇や薬草園を守っています。

クリーンアップ：月2回主屋の入念な清掃などを行っています。

囲炉裏守：月3回以上の囲炉裏焚きを行い、茅葺屋根の保全を行っています。

広報部会：「ふじやまだより」の編集と印刷を行っています。

また、今年は来年の開園10周年記念事業に向けての取組みが始まっています。ぜひ一度、古民家の歴史を感じながら、あなたもボランティアを楽しみませんか。ボランティアには登録が必要です。事務局(TEL.896-0590)までお問合せ下さい。

平成24年5月ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	4日(金)	古民家歴史部会 部会	13日(日)
農芸部会 部会	21日(月)	古文書解読勉強会	6日(日) 27日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	3日(木)
里山部会 作業	12日(土) 19日(土) 27日(日)	囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます
工作棟部会 部会	30日(水)	クリーンアップ	1日(火) 15日(火)
子ども工作準備	適時	ふじやまだより編集会議	5日(土)
ホームページ制作打合せ	4月29日(日)	印刷	12日(土)

楽しい教室のお知らせ

奮ってご参加ください。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
作って遊ぼう～ 子ども工作の日	5月20日(日)10時～12時 13時～15時	紙飛行機を作って飛ばそう!	無料 当日受付	10時～11時 13時～14時 先着順10名
フラワー アレンジ	6月5日(火)13時30分～ 15時30分	さわやかな初夏の花	2,000円	5月20日(日) 10名
粘土でブローチ	6月8日(金)13時～15時	粘土で作るブローチ	500円	5月31日(木)
押し花	6月15日(金)13時～16時	6月の花を押し花額にデザイン 18cm×10cm	2,000円	6月11日(月) 10名
6月初心者茶道 体験教室	6月16日(土)13時～16時	楽しくお茶を体験してみませんか 平服でおいで下さい	500円	5月31日(木)
寺子屋 Part-	6月21日(木)13時～15時30分	河井継之助の旅日記から (長岡藩)船中八策と日本の夜明け	無料	6月11日(月) 15名
伝統工芸「鎌倉彫」を彫る (3回コース)	6月23日(土) 6月30日(土) 7月14日(土) いずれも13時～16時	18cmの平皿に「アジサイ」を彫る	2,000円	5月31日(木) 10名
粘土工芸 (ティッシュボックスカバー) (3回コース)	6月22日(金) 7月13日(金) 7月27日(金) いずれも13時～16時	粘土で作るティッシュボックスカバー	1,500円	6月12日(火)

(1)持参品：返信はがきで連絡します。(2)定員：12名。応募者多数のときは抽選

(3)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

・・・お知らせ・・・

端午の節句祭り

鯉のぼり掲揚 4月16日(月)～5月13日(日)

五月人形飾り 4月17日(火)～5月14日(月)

お茶席 5月6日(日)12時～15時 一服300円 30名限定



3月ふじやま公園来園者数 1,620名

23年度累計 21,075名



- | | |
|----------|----------------------------|
| ・開館時間 | ： 9：00～17：00 |
| ・入館料 | ： 無料 |
| ・休館日 | ： 5月2日(水) |
| ・クリーンアップ | ： 5月1日(火) 5月15日(火) 10時～11時 |

ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20 TEL：896-0590 FAX：896-0593

「ふじやまだより」に対するご意見やご感想を電話、FAXでお気軽にどうぞ。